

チェ・シティ・ノア・ビンティ・チェ・ママト (マレーシア)



はじめまして。私はマレーシア国家災害管理庁 (NADMA) の主席次長を務めている、チェ・シティ・ノア・ビンティ・チェ・ママトと申します。NADMA における私の役割は、災害発生時の戦略立案と業務調整です。主な職務には、国、地域、国際的なメカニズムに沿った包括的な災害調整・対応計画の策定、さまざまな種類の災害に対する標準作業手順の策定、災害発生時の対応者間の調整の促進、資源の効率的な配分の確保などがあります。さらに、災害後の評価を行い、その有効性を評価し、改善すべき点の特定をしています。また、ASEAN 防災人道支援調整センター (AHA センター) や国連人道問題調整事務所 (UNOCHA) などの組織と協力して、地域的・国際的な緊急活動計画を管理し、民軍連携、ASEAN 緊急対応評価チーム (ASEAN-ERAT)、国連災害評価調整チーム (UNDAC)、二国間災害対応プログラムなどの地域的・国際的ツールなどについても調整をしています。

私のバックグラウンドとしては、地質学の学士号と災害リスク管理・政策の修士号を取得し、地すべりリスク管理を専門としています。2006 年に天然資源環境省鉱物・地球科学課の次官補として政府部門でキャリアをスタートさせて、当時は地盤災害を含む地球科学分野の政策・計画に焦点を当て活動を行いました。その後、2014 年にエネルギー・環境技術・水資源省の再生可能エネルギー課で主席次官補に昇格し、2016 年に現在の所属先である NADMA に入省しました。

これまでの公務員としてのキャリアを通じて、私は災害に関連する国の法律や規則の起草や見直しを担当する特別タスクフォースに積極的に関与してきました。その中には、1960 年の国土保全法、1974 年の地質調査法、2008 年の地質学者法、2009 年の丘陵・高原開発ガイドライン、そして最近では、2024 年 10 月に完成した国家防災政策 2030 の起草などが含まれています。

2018 年からは ASEAN-ERAT、2019 年からは UNDAC チームのメンバーとしても参加しています。また災害活動コーディネーターとして、COVID-19 の自国民の帰還活動、2023 年トルコ地震へのマレーシア SMART 捜索救助チーム派遣時の支援管理、2024 年 10 月の台風 20 号 (アジア名：チャーミー、フィリピン名：クリスティン) 来襲時におけるフィリピンへの軍事物資輸送など、多くのミッションに貢献してきました。

今回、日本での研修に関する機会を頂き、災害に強い文化や、特に地震や津波などの大規模災害に対する備えについて学びたいと思います。このような機会を与えてくださった日本政府と ADRC に心から感謝します。この経験を最大限に生かし、得られた知識を共有し、またネットワークを広げて、貴重な見識を自分の組織や国に還元していきたいと思っています。